

平成 27 年度  
ゼロ予算事業実績報告



平成 28 年 10 月  
大 仙 市

## 1 ゼロ予算事業の趣旨

ゼロ予算事業は、新たな予算措置を伴うことなく、職員一人ひとりの積極的な創意工夫や新しい発想のもと、技術・知識、資産、情報等の最大限の活用や市民との協働・連携など多様な手法を用いることによって、市民サービスの一層の充実を図る試みです。そのため、通常業務から一歩前に入る取組と考えています。

今後も自治体を取り巻く財政状況は、一層厳しさを増すことが予想されます。その一方で、住民ニーズは多様化しており、そのニーズに積極的に応えていくためにもゼロ予算事業は必要かつ重要な取組となっています。

## 2 これまでの実績

大仙市では、平成19年度からゼロ予算事業に取り組んでおり、これまでの実績は次のとおりです。

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
実施	35件	50件	53件	47件	35件	34件	35件	28件

## 3 平成27年度の実績

平成27年度に実施したゼロ予算事業は、新規事業として取り組んだものは無く、前年度又はそれ以前から実施している継続事業のみで、計25件でした。

ゼロ予算事業は、各種出前講座や公民館のスペース活用など多岐にわたる内容で実施していますが、事業提案部署に偏りがあるなどの課題も見られることから、提案部署の拡大、内容の工夫・改善、一層の市民への周知を図るなど、ゼロ予算事業を市民に活用していただけるよう今後も努めてまいります。



平成 27 年度ゼロ予算事業一覧

No.	事業名	提案部署 (H27 年度当初)
1	防災に関する出前講座	総務部 総合防災課
2	カワセミ鑑賞会	企画部 総合政策課
3	大仙市さくらマップ事業	企画部 まちづくり課
4	男女共同参画に関する柔らかい出前講座	企画部 男女共同参画推進室
5	事業所のごみ排出意識啓発事業	市民部 環境交通安全課
6	こくほ出前講座	市民部 国保年金課
7	鮭稚魚の成長観察	農林商工部 農林振興課
8	野菜栽培なんでも相談会	農林商工部 農林振興課 西部新規就農者研修施設
9	西部新規就農者研修施設の一般公開	農林商工部 農林振興課 西部新規就農者研修施設
10	大仙市オリジナル名刺作成	農林商工部 企業対策課
11	市内企業データベースの公開	農林商工部 企業対策課
12	シルバー人材センター地域窓口支援事業	農林商工部 企業対策課
13	雪下ろし技能講習会	農林商工部 企業対策課
14	若者就職応援講座	農林商工部 企業対策課
15	山野草と歴史を学ぶウォーキング事業	生涯学習部 生涯学習課
16	自然と文化に触れる会	生涯学習部 生涯学習課
17	はなだて優遊学	生涯学習部 生涯学習課 花館公民館

No.	事業名	提案部署 (H27年度当初)
18	地域文化ギャラリー	生涯学習部 生涯学習課 西仙北中央公民館
19	なんがいキッズプロジェクト 「こんなに広い私たちの大仙」	生涯学習部 生涯学習課 南外公民館
20	ゲストティーチャー紹介事業	生涯学習部 生涯学習課 太田公民館
21	学力レベルアップ事業	生涯学習部 生涯学習課 太田公民館
22	学校図書館連携事業	生涯学習部 生涯学習課 総合図書館
23	大仙市文化財めぐり	生涯学習部 文化財保護課
24	旧池田氏庭園 結婚記念・金婚式記念写真 撮影応援事業	生涯学習部 文化財保護課
25	真山公園クリーンアップ事業	仙北支所 農林建設課



平成27年度ゼロ予算事業実績

No.	1	事業名	防災に関する出前講座	提案部署	総務部 総合防災課
-----	---	-----	------------	------	-----------

事業内容

目的：市民の防災意識の向上と、地域住民が自主的な防災活動を行う自主防災組織の結成拡大

内容：市内の自治会・自主防災組織等を対象とした防災出前講座

実施回数：計20回

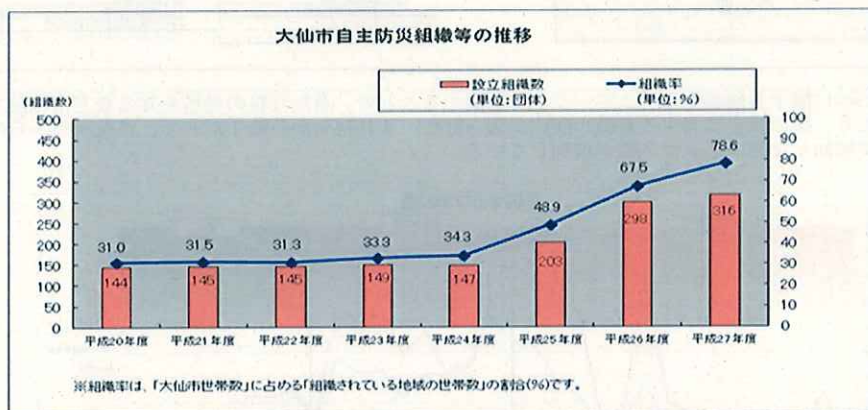
(大曲会場11回、神岡会場2回、西仙北会場4回、南外会場1回、その他会場2回)

談話時間：約20～30分／1回

受講人数：延べ約1,500人

事業効果・成果

平成27年度は自主防災組織の組織率が前年に比べて約11%増加した。このことから、市民が地域防災に対して強い関心を抱いていることが感じとれる。



今後に向けての課題・改善点	<p>平成27年度は、大仙市の自主防災組織率が約79%に到達したことから、市民の防災への関心が高まっていることがうかがえる(平成28年3月末現在)。</p> <p>今後も防災講座を行い、市民に身近にできる災害対策を伝えていくことで、「自分たちのまちを自分たちで守る」という防災意識の向上と、自主防災組織の結成・拡大に努めていく。また、各支所と連携しながら自主防災組織の市内組織率100%を達成できるよう尽力していく。</p> <p>大仙市自主防災組織率 (平成28年3月末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>大曲</th> <th>神岡</th> <th>西仙北</th> <th>中仙</th> <th>協和</th> <th>南外</th> <th>仙北</th> <th>太田</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>組織率(%)</td> <td>68.6%</td> <td>100.0%</td> <td>78.3%</td> <td>66.3%</td> <td>88.4%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>78.6%</td> </tr> </tbody> </table>	地域	大曲	神岡	西仙北	中仙	協和	南外	仙北	太田	合計	組織率(%)	68.6%	100.0%	78.3%	66.3%	88.4%	100.0%	100.0%	100.0%	78.6%	27年度区分	継続
	地域	大曲	神岡	西仙北	中仙	協和	南外	仙北	太田	合計													
	組織率(%)	68.6%	100.0%	78.3%	66.3%	88.4%	100.0%	100.0%	100.0%	78.6%													

No.	2	事業名	カワセミ観察会	提案部署	企画部 総合政策課
-----	---	-----	---------	------	-----------

事業内容

日本野鳥の会会員の鈴木三郎氏による案内で観察した。

○実施日時：平成27年4月18日(土)午前8時～9時

○場所：中川原コミュニティ公園

○参加者：30人

事業効果・成果

残念ながら、観察対象としていたカワセミが営巣中の巣を放棄したため、観察ができなかった。代わりにアオサギ等の野鳥観察を行った。カワセミが見られなかったため、営巣中に鈴木氏が撮影した2種類のカワセミの写真を参加者に配付した。

今後に向けての課題・改善点	<p>今後市民に対し、カワセミが市の鳥であることと合わせ、コスモス(市の花)やケヤキ(市の木)の周知もさらに図っていく。</p>	27年度区分	継続
---------------	--	--------	----

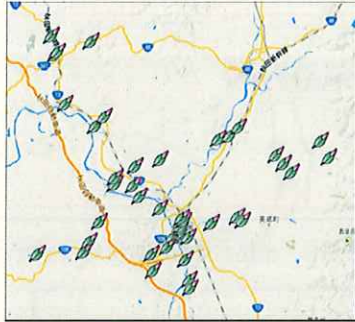


平成27年度ゼロ予算事業実績

No.	3	事業名	大仙市さくらマップ事業	提案部署	企画部 まちづくり課
-----	---	-----	-------------	------	------------

事業内容

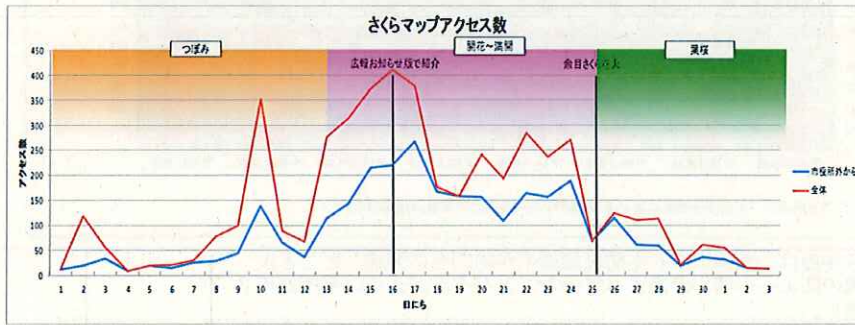
日本文化に馴染みの深い桜について認識を高め、市内に生息している桜の保全に対する意識醸成を目的とし、市内の桜の分布や開花状況などの情報発信を行うもの。職員や市民の方々から桜の生息地や開花状況に関する情報をいただき、平成27年度は市内47カ所について、大仙市ホームページ上で公開した。



地域	No.	場所	地域	No.	場所	
大田	1	鹿角谷公園通り	中仙	25	浜の桜公園	
	2	舟形まの道行公園		26	八乙女公園	
	3	舟形まの道水邊沿		27	ドンツツ公園	
	4	船場川堤防(水田百種)		28	大津尾川公園	
	5	石橋の堤防沿河木		29	栗山ふれあいの緑地農産園	
	6	石橋農産園		富野	30	大乙女公園(道の駅ゆまもと)
	7	倉吉公園			31	倉吉公園
	8	船場川(舟形)田圃		高野	32	清吉川沿河木
	9	大乙女公園			33	栗山公園
	10	船形公園		高野	34	栗山町のシゲザクラ
	11	船形川沿河木			35	栗山町公園
	12	舟形川堤防		高野	36	栗山ふれあいのパーク
	13	船形公園			37	いしの森ふれあいの公園
	14	川原川公園		高野	38	船形町小学校校庭
15	舟形のまの道公園	高野	39		一ツ谷公園	
16	舟形のまの道公園		高野	40	栗山公園	
神岡	17	川原川公園(二ツノ一公園)		高野	41	船形町
	18	舟形のまの道公園	42		ふれあいの水公園	
	19	船形公園	大田		43	舟形のまの道
20	船形川(舟形)田圃	44		大仙市役所大田支庁		
高野	21	倉吉公園	高野	45	船形公園	
	22	舟形まの道公園		46	大田公園	
	23	大乙女公園		高野	47	栗山町ふれあいのシゲザクラ
24	大乙女公園					

事業効果・成果

寄せられた情報を基に市内の桜に関する情報をホームページ上で公開することで、新たな桜の見所を知るなど市の魅力を再発見できたとともに、市民の方々との協働により、桜の保全に対する意識の醸成が図られた。4月初旬から約1か月で、市役所外からのアクセス数が2,922件あり、特に広報お知らせ版で周知した後にアクセス数が増加している。



今後に向けての課題・改善点	市民の方々からの情報提供が少ないため、電話や窓口での募集も継続しつつ、スマートフォンで撮影した写真をすぐにメール送信することができるような仕組み作り（QRコードを作成して広報に掲載する）等、従来のメールによる募集を強化し、周知徹底に努めていく。 また、更新回数や更新日の見直しを行いながら今後も事業を継続し、市の美しい景色や貴重な資源を再発見する機会につなげていく。	27年度区分	継続
---------------	--	--------	----

No.	4	事業名	男女共同参画に関する柔らかい出前講座	提案部署	企画部 男女共同参画推進室
-----	---	-----	--------------------	------	---------------

事業内容

市内の団体（高校、自治会など）を対象に、それぞれの要望に合わせた内容とスタイルで出前講座を実施。

- 回数：7回（※H26年度 46回）
- 対象人数：672人（H26年度 4073人）
- 内容：①市内高校での生徒を対象とした「みんなでキズク×キズク講座」 4回  
②自主防災組織会員や町内会員を対象とした地域防災講座 3回

事業効果・成果

- ・地域での理解者・実践者が増えていくことにより、多様な主体による男女共同参画社会づくりに繋がっている。
- ・座学に加え男女共同参画のあり方を体験して頂けるような参加型・学び合いの方式を取り入れることで、参加者自らが気づき、それぞれの課題解決に向けた取り組みを始めるきっかけとなっている。

今後に向けての課題・改善点	・出前講座に関して積極的に周知していなかったこと。 ・職員それぞれの得意分野を活かした講座を開催していけるよう工夫し、異動に左右されない体制づくりを目指す。	27年度区分	継続
---------------	---	--------	----



平成27年度ゼロ予算事業実績

No.	5	事業名	事業所のごみ排出意識啓発事業	提案部署	市民部 環境交通安全課
<b>事業内容</b> 事業活動に伴って生ずる事業系一般廃棄物は、一般廃棄物収集運搬許可業者に収集運搬を委託しているケースが多いことから、事業所を訪問することにより、ごみの排出に対する意識の向上と資源ごみの分別についての啓発を目的として実施した。 平成27年度は、秋田県誘致企業などを訪問し、排出されるごみの状況や分別方法に関する聞き取りを行い、分別方法等に関する指導を行った。					
<b>○平成27年度訪問事業所</b> H28.1.13 (大曲) アネスト岩田秋田工場 " (中仙) 秋田上日工業 H28.1.18 (神岡) セーコン新秋田工場 " (仙北) タニタ秋田 " (太田) 宮腰精機国見工場 H28.1.21 (協和) エーピーアイ " (南外) ナガイ白衣南外工場 " (西仙北) J U K I 秋田精密					
<b>事業効果・成果</b> ・アネスト岩田秋田工場においては、従業員がポケットマニュアルを常に携帯し、ごみの分別はもとより環境に配慮した行動を心がけている。また、文書等の電子化の推進によりペーパーレスを進めるとともにコピーの抑制も図っている。 ・J U K I 秋田精密においては、工場内で発生する廃棄物の約9割が有価物として排出可能なものであることから、従業員に対して分別について教育している。 ・上記のように今回調査対象とした事業所においては、従業員一人ひとりの分別意識の向上やごみ減量に向けて熱心に取り組んでいる事例を把握できたことから、次年度以降の事業所訪問の際に優良な取り組み事例として紹介することもできると考える。					
今後に向けての課題・改善点	事業所等から排出される事業系一般廃棄物の排出量は、景気動向にも左右されるもののここ2～3年はほぼ横ばいとなっていることから、平成28年度においても、当該事業を引き続き実施し、ごみの減量化と再資源の周知を図っていく。 また、事業所における分別教育を通じて、個々の従業員が家庭に帰ってからの家庭ごみの分別につながることを期待するものである。			27年度区分	継続

No.	6	事業名	こくほ出前講座	提案部署	市民部 国保年金課 (H27年度当初)
<b>事業内容</b> 事務所や集会所等に国保担当職員が出向き、国民健康保険の加入・脱退手続き等について、出前講座を実施。  実施回数：1回 実施日時：平成27年7月16日(木) 参加人数：44人					
<b>事業効果・成果</b> 離職前に健康保険に関する講座を実施したことにより、国保加入の手続きや軽減の申請などが遅滞なく行われることにつながった。					
今後に向けての課題・改善点	今後も関係課と連携しながら、講座の実施に努めていく。			27年度区分	継続

平成27年度ゼロ予算事業実績

No.	7	事業名	鮭稚魚の成長観察	提案部署	農林商工部 農林振興課 (H27年度当初)
<b>事業内容</b> 秋に玉川漁場で採捕し、市営水産ふ化場にて受精させた鮭の卵を希望する市内小学校へ配付し、ふ化の瞬間とその後の成長観察や給餌等の作業、春の放流を体験してもらうことで、自然環境や生命の大切さを学んでもらった。また市役所大曲庁舎、花館公民館、仙北地域振興局、JR大曲駅等で稚魚の展示を行った。 ○事業対象：希望する市内小学校（4校程度） ○実施期間：2月～翌年度4月 ○実施内容：発眼卵の提供、水槽の設置、観察・給餌指導、放流サポート  <b>【実績】</b> ○水槽設置・発眼卵配布・観察指導（2月上旬）－花館小学校 ○水槽設置・稚魚飼育展示（3月上旬～4月上旬）－四ツ屋小学校 ○水槽設置・稚魚展示（2月下旬）－大曲庁舎、花館公民館、仙北地域振興局、憐丸茂組、JR大曲駅 ○放流式（4月12日）－玉川河川敷 花館、四ツ屋、内小友、神岡小学校（児童 合計177人）					
<b>事業効果・成果</b> 鮭は海を回遊し3～4年後には、子孫を残すため生まれた川に帰ることから、短期間でも鮭の成長、旅立ち、回帰にかかわることにより、郷土の大切さを学ぶことができる。 また、公共施設で稚魚展示することにより、来庁する市民等へ事業の内容や、鮭事業の伝統をPRすることができる。特にJR大曲駅では、展示によって大きなPR効果を得ることができたと考えている。					
今後に向けての課題・改善点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在実施している小学校以外の小学校での実施。</li> <li>・希望する団体には、ふ化場やウライの見学会も実施する。</li> <li>・希望する団体に、サケに関する出前講座を実施し、ふ化放流事業を環境教育に活用する。</li> <li>・取り組みを広げ「鮭資源等確保活用事業」を市民にPRする。</li> </ul>		27年度区分	継続

No.	8	事業名	野菜栽培なんでも相談会	提案部署	農林商工部 農林振興課 西部新規就農者研修施設 (H27年度当初)
<b>事業内容</b> ○内 容：野菜栽培でわからないことや、日頃から疑問に思っていることについて個別相談を受けた。また、研修施設で栽培している作物を見ながら現場で栽培指導を行った。 ○日 時：平成27年6月24日（水）午前9時30分～午前11時30分 ○場 所：大仙市西部新規就農者研修施設 ○講 師：秋田県仙北地域振興局農林部農業振興普及課職員（1名） 大仙市西部新規就農者研修施設 農業専門技術員（2名） ○参加者：26人 <b>【地域内訳】</b> 大曲4人、西仙北17人、中仙1人、協和2人、南外2人 ○備 考：「西部新規就農者研修施設の一般公開」と同日実施					
<b>事業効果・成果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜栽培でわからないことや悩んでいることが解決され、参加者の野菜栽培技術の向上が図られた。</li> <li>・「食」と「農」について一層関心を持ってもらえた。</li> <li>・当施設や当施設内での研修状況等をPRできた。</li> </ul>					
今後に向けての課題・改善点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催時期についてはちょうどいいという意見が多かったため、次年度も同時期での開催を検討している。</li> <li>・参加者の希望があれば、相談のみならず、圃場を使用しての体験等も行っていく。</li> </ul>		27年度区分	継続



平成27年度ゼロ予算事業実績

No.	9	事業名	西部新規就農者研修施設の一般公開	提案部署	農林商工部 農林振興課 西部新規就農者研修施設 (H27年度当初)
<b>事業内容</b> ○内 容：新たに就農しようとする方を育成している新規就農者研修施設で、研修を希望する方、またはその家族や関係者及び関心のある方に、施設や研修状況などの一般公開を行った。 ○日 時：平成27年6月24日（水）午前9時30分～午前11時30分 ○場 所：大仙市西部新規就農者研修施設 ○参加者：26人 【地域内訳】 大曲4人、西仙北17人、中仙1人、協和2人、南外2人 ○備 考：「野菜栽培なんでも相談会」と同日実施					
<b>事業効果・成果</b> ・当施設や当施設内での研修状況等をPRできた。 ・野菜栽培なんでも相談会と同時に行うことで、より多くの人に認知された。					
今後に向けての課題・改善点	・「野菜栽培なんでも相談会」と同時に開催したため、施設自体のPRはできたと思うが、研修を実際に受けたいという方に向けた公開については不十分だった。 ・施設で採れた野菜等について販売予定だったが、収穫時期等の関係上大々的には行えなかったため、実施日の検討を行っていく。 ・研修生が研修の一環として「販売実践」をすることにより、消費者のニーズや接客の仕方などを学べるので、可能であれば販売も行う。			27年度区分	継続

No.	10	事業名	大仙市オリジナル名刺作成	提案部署	農林商工部 企業対策課 (H27年度当初)
<b>事業内容</b> 市内印刷業者の協力を得て「秋田県大仙市は企業誘致に取り組んでいます」（市職員、市議会議員向け）、「私は秋田県大仙市を応援しています」（関係団体、市出身者等向け）の一文とともに、市の位置図・観光名所・PRポイントなどを写真・イラストで紹介するフルカラー見開き名刺を作成した。市職員、関係団体、市議会議員、市出身者等が大仙市をPRすることにより、企業誘致、観光振興につなげることを目的としている。 デザインは平成27年版に更新し、平成27年3月18日から受け付けを開始し、通年の申込みを受け付けた。代金は100枚1セットで3,300円とし、大曲の花火とまるびちゃん、市内8地域をあしらった10種類のデザインから任意に選べるものとした。					
<b>事業効果・成果</b> 平成27年度中は職員47名、市議会議員2名、首都圏在住市出身者4名、市内事業者等2名の計55名が注文した。年度中盤・後半での追加注文や、異動が無かった職員からの継続した注文のほか、注文者個人のフェイスブックでの投稿もあり、大仙市のPRに役立っているものと考えられる。 各地域のふるさと会事務局の協力のもと、総会での案内チラシによるPRを行い、首都圏在住市出身者からも申し込みをして頂いた。					
今後に向けての課題・改善点	今後も、ふるさと会、企業懇話会等の首都圏在住の市出身者が集う機会での案内を積極的に行い、特に首都圏在住の市出身者の利用増を図る。また、デザインを一新することで新規利用者の開拓に努める。			27年度区分	継続

平成27年度ゼロ予算事業実績

No.	11	事業名	市内企業データベースの公開	提案部署	農林商工部 企業対策課 (H27年度当初)
<b>事業内容</b> 大仙市ホームページ上で、市内の製造業企業の製品や技術について情報発信を行い、管外からの受注及び管内企業間の受発注の促進を図る。掲載は企業の希望により行い、随時更新する。データベースは業種別、五十音順の2つのカテゴリから企業を検索することが可能。企業情報は、PDF出力も可能であり、企業のホームページへリンクを設定している。					
<b>事業効果・成果</b> 企業訪問時に紹介・案内を実施し、平成27年度末現在の登録数は27社である。					
今後に向けての課題・改善点	掲載企業数が鈍化してきているため、引き続き企業訪問時に登録を呼びかけるほか、掲載する業種を製造業以外にも広げるなど登録企業数の増に努める。また、情報を最新の状態に保てるよう、掲載企業との確認作業を定期的に行う。			27年度区分	継続

No.	12	事業名	シルバー人材センター地域窓口支援事業	提案部署	農林商工部 企業対策課 (H27年度当初)
<b>事業内容</b> 市民からシルバー人材センターへの作業依頼に伴う注文依頼の仮受付業務とシルバーの会員から提出される就業報告書の送致に関する業務を市が協力する。 ○作業依頼 : 市民 → 各支所市民サービス課 (仮受付) → シルバー人材センター (依頼者へ連絡、依頼業務完了) → 市民 ○就業報告書 : シルバー会員 → 各支所市民サービス課 (保管、送致) → 企業対策課 (毎週火曜日) → シルバー人材センター (就業確認、就業配分金支払い) → シルバー会員					
<b>事業効果・成果</b> 各支所市民サービス課を窓口とすることにより、利用者及びシルバー会員の利便性を高めている。					
今後に向けての課題・改善点	窓口担当者の異動等により、事務手続きに支所単位で違いがあるため(事務報告書の提出日)、事務担当者の打合せを行い手続き事務の統一を図る。			27年度区分	継続



平成27年度ゼロ予算事業実績

No.	13	事業名	雪下ろし技能講習会	提案部署	農林商工部 企業対策課 (H27年度当初)
<b>事業内容</b> 1. 目的／市民が屋根の雪下ろしに関する正しい知識と危険意識を持って安全に作業し、不慮の事故を未然に防止することを目的に「雪下ろし技能講習会」を開催する。 2. 主催／大仙市 3. 共催／大曲仙北建設技能組合連合会、大仙警察署、大曲仙北広域消防本部、大曲消防署、秋田県仙北地域振興局、労働基準監督署 4. 参加者／169人 5. 開催日時及び会場 日時：平成27年12月17日（木）午後2時～4時 会場：講義／大曲地域職業訓練センター（大仙市大曲田町3-1） 講義会議室 実技／秋田県仙北地域振興局（大仙市大曲上栄町13-62） 重機車庫 ※悪天候のため、振興局重機車庫を使用した。					
<b>事業効果・成果</b> ゼロ予算であるため、経済的な負担が無いほか、建設技能組合、警察署、消防署、地域振興局、大曲労働基準監督署の共催により、参加者に対し幅広い分野からの情報を提供でき、また団体同士の連携の強化にもつながっている。 当該事業の周知を定例記者会見、広報のほか、大曲地域町内会、大仙市各地域協議会、大仙市老人クラブ連合会役員を通じて行っていた。平成27年度は大仙市雪下ろし協力事業所と、新たに共催した大曲労働基準監督署からも雪下ろしを行っている業者に通知したところ参加者が増えている。					
今後に向けての課題・改善点	当事業は平成28年度から、雪対策に特化した専門部署である、「雪対策推進室」に移管することになった。			27年度区分	継続

No.	14	事業名	若者就職応援講座	提案部署	農林商工部 企業対策課 (H27年度当初)												
<b>事業内容</b> 1. 内容／高校・短大・大学・専門学校の新卒者を含む30歳未満の求職者を対象に働くために必要とされる基礎知識やビジネスマナーを修得する講座のほか、企業の経営者や人事担当者から必要とされる人材について直接話を伺う企業講話などを実施し、求職者のスキルアップを図りながら働く意欲を高め、内定に結びつける。 2. 期間／8月28日（金）、9月4日（金）、11日（金）、18日（金）、30日（水）毎週1回、計5回実施 3. 会場／大曲地域職業訓練センター 1階 教室1（住所：大仙市大曲田町3-1） 4. 参加者／4人																	
<b>事業効果・成果</b> 平成22年度から平成24年度まで若年未就職者支援講座として行っていた事業をゼロ予算化したものであるため、市の財政面の負担が無くなった。受講者に対しては、就職に対するモチベーション向上をもたらしている。 また、市当局を始め、ハローワーク、秋田県ふるさと定住機構、地元企業の協力により実施しているため、関係機関の連携強化につながっている。																	
<b>若者就職応援講座受講者の状況</b>																	
<table border="1"> <caption>若者就職応援講座受講者の状況</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受講者数</th> <th>就職状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>						年度	受講者数	就職状況	H25	4	0	H26	6	3	H27	4	2
年度	受講者数	就職状況															
H25	4	0															
H26	6	3															
H27	4	2															
今後に向けての課題・改善点	受講後のアンケートでは高い評価を得ている。講座修了1年後に実施している就職状況調査では職に就いていない人もおり、今後はカリキュラム等を再検討し、就職しやすいものとしていく。			27年度区分	継続												



平成27年度ゼロ予算事業実績

No.	15	事業名	市民大学教養講座「山野草と歴史を学ぶウォーキング事業」	提案部署	生涯学習部 生涯学習課
事業内容					
<p>実施日時：平成27年5月8日（木）8:45～17:00                      参加人数：一般35人（及び会員8人）                      実施場所：中仙地域、太田地域                      (実施内容)                      8:45 集合・日程説明（9:00出発）                      9:40 準備運動等                      10:05 「山野草ウォーキング」(十六沢城跡～小沼神社)                      12:25 移動・昼食（大台スキー場にて太田産新蕎麦昼食）                      13:40 大台スキー場近隣散策（山野草・野鳥観察など）                      15:30 バス移動                      15:30 「長左エ門のサワラの垣根」見学（16:00出発）                      16:40 市民会館着・終わりの会・解散</p>					
   					
事業効果・成果					
<p>全般トラブルもなく、天候も前日までも含め好天が続き予定していた事業内容を全て履行することができた。当日実施したアンケートによれば参加者からはほぼ100%に近い満足いただけた感想や、大きな感謝の声が聞かれるなど、大仙市の魅力を広くPRする上で大きな成果が上げられたように思う。</p> <p>また、今回も少人数によるグループ分けと、それぞれに案内人を随行させ実施したところ、大人数で一方的な説明を聞きながら回る事業に比べ、懇切丁寧な説明を受けることができたこと非常に好評であり、今後も案内人の確保ができる限り、このような少人数編成の研修が望ましいように思われた。</p>					
今後に向けての課題・改善点	<p>昨年度の課題であった大仙市東部コースの検討及び実施について実現することができた。</p> <p>今後も、市内のさまざまな地域資源について学ぶことができる「地元学」の学習機会を提供していく上で、講師役の市民団体と協議し改善を加えながら、さらなる学習内容の向上を図っていく。</p> <p>また、これまで学習者の立場であった市民や団体が講師を務める「行動人」として今後も一層地域の学習活動に参画いただくことにより、地域全体において生涯学習の振興が図られていくよう継続的に実施していく。</p>			27年度区分	継続
No.	16	事業名	西山山野草共生会共催事業「自然と文化に触れる会」	提案部署	生涯学習部 生涯学習課
事業内容					
<p>実施日時：平成27年5月29日（金）                      参加人数：一般14人（及び会員20人）                      実施場所：羽後町（刈女木湿原、西馬音内城跡等）</p>					
 					
事業効果・成果					
<p>午前中は自然環境について学習する刈女木湿原巡り、昼頃からは西馬音内城跡や西馬音内盆踊り記念館を巡る歴史文化研修など、2つのテーマのもとに開催された事業内容については、一般参加者はもちろん共催の西山山野草共生会会員からも好評であった。</p> <p>また、時間配分にも余裕があったことから参加者個々のペースで知識を深めていただくことができた。</p>					
今後に向けての課題・改善点	<p>今回初めて西山山野草共生会と一般市民の合同参加という形式で実施したが、会員が主体的にこれまでの学習や活動成果を発揮できる場面がなく、共催の特色が出し切れない結果に終わった。</p> <p>今後は同会員にグループリーダーを務めてもらったり、研修の一部に環境整備活動を盛り込むなど実施内容について同会と再検討しながら、内容のさらなる充実を図る必要がある。</p>			27年度区分	継続



平成27年度ゼロ予算事業実績

No.	17	事業名	はなだて優遊学	提案部署	生涯学習部 花館公民館	生涯学習課
<b>事業内容</b> ○老人クラブレクリエーション交流大会 実施日：平成27年5月27日（水）午前10時～11時30分 場 所：花館公民館 体育館 参加人数：80人  ○編み物教室 実施日：平成28年1月12日（火）～2月26日（金）午前10時～12時 全13回 場 所：花館公民館 参加人数：延べ195人  ○歴史講座～絵馬が語る先人の信仰～ 実施日：平成28年3月8日（火）午前10時～11時30分 場 所：花館公民館 参加人数：20人						
<b>事業効果・成果</b> 全ての事業において次の事業へのつながりを持つことができたため、その事業や地域行事の活性化につながった。また事業の趣旨に対する理解度が高まり、各種教室において指導申し入れが数件あり、次年度へつなげていく予定である。						
今後に向けての 課題・改善点	公民館事業の趣旨を地域住民に周知したことにより、学んだことを地域で活かそうと講習会開催の申し入れがあるので、他の事業や地域の要望等を考慮しながら、その能力を発揮できる場を提供していく。			27年度 区分	継続	

No.	18	事業名	地域文化ギャラリー	提案部署	生涯学習部 西仙北中央公民館	生涯学習課
<b>事業内容</b> 一年を通して公民館ホールを解放し、一般の方が趣味で作成した作品の展示や、芸術文化協会加入団体が作成した作品を展示し、地域住民への文化振興の普及を図った。  (1) 嵯峨栄一氏（書道） 5月～7月 (2) 若松満氏（写真） 5月～6月 (3) 齊藤淳子・阿部良子氏（二人展） 7月～8月 (4) 生涯学習奨励員（ソープフラワー、籠） 11月～12月 (5) ちぎり絵サークル 11月～12月 (6) 七宝焼同好会 11月～12月						
<b>事業効果・成果</b> 展示品は、制作者が個人で搬入を行い、また、展示内容についても自分たちでアレンジして、鑑賞者へアピールした。ホールの空きスペースを利用した展示ではあるが、たくさんの来館者が足を止め鑑賞頂くことができた。						
今後に向けての 課題・改善点	展示スペースが十分な広さでないため、展示品数を制限しなければならなかった。今後は、限られたスペースであるため、展示品の内容により季節や時期を考慮し、展示者や各種団体と話し合い展示の順番や時期を決めていく。同じ人だけでなくもっと広く利用して頂くようPRする。			27年度 区分	継続	

平成27年度ゼロ予算事業実績

No.	19	事業名	なんがいキッズプロジェクト「こんなに広い私たちの大仙」	提案部署	生涯学習部 南外公民館	生涯学習課
<b>事業内容</b> 内容 南外小学校3年生以上を対象にして、大仙市内の各施設・名所などを視察体験することで私たちの住んでいる「ふるさと大仙」を学び地域のすばらしさを再確認できる社会科見学バスツアー。 実施日時 平成27年7月30日(木) 9時30分～15時30分 参加人数 15人 見学場所 1. 道の駅なかせん「こめこめプラザ」 2. 中仙市民会館 ドンパル 3. 秋田県畜産試験場 4. 神岡中央公民館 嶽雄館						
<b>事業効果・成果</b> 見学先の施設の役割を聞いたり、施設内で働く人たちと交流することで、仕事に対する興味・関心を深めることができた。						
今後に向けての課題・改善点	夏休み中の子ども達を対象として、今後も続けて行きたい事業である。小学校やスポ少などと連携を図り、参加しやすい日程などを調整しながら、子ども達が興味・関心を持てるような内容を計画していく。			27年度区分	継続	

No.	20	事業名	ゲストティーチャー紹介事業	提案部署	生涯学習部 太田公民館	生涯学習課
<b>事業内容</b> 公民館等で活動している同好会・サークルの方を講師として紹介。 1. 実施日 平成27年9月 2. 場所 大曲農業高等学校太田分校 3. 内容 陶芸 17人 囲碁 9人 茶道 10人 押し花 15人						
<b>事業効果・成果</b> 財政面では、講師の方のボランティアによって行われており、経費はかからない。また、講師の方が地域に住んでいる方なので、地域と学校との連携・交流を図ることができた。						
今後に向けての課題・改善点	特になし。			27年度区分	継続	



平成27年度ゼロ予算事業実績

No.	21	事業名	学力レベルアップ事業	提案部署	生涯学習部 太田公民館	生涯学習課
<b>事業内容</b>						
<p>1. 「太田キッズ学びい教室」</p> <p>(1) 開催日時 夏季 7月23日、24日、27日 10:00～11:30 冬季 1月6日、7日 10:00～11:30</p> <p>(2) 参加人数 夏季 延べ 492人 冬季 延べ 187人</p> <p>(3) 会場 太田公民館</p> <p>(4) 内容 児童の長期休暇中にボランティアによる自主学習の支援 夏季の最終日午後には希望者を対象に大田市農業振興情報センターで野菜収穫体験を実施</p> <p>2. 「太田のてらこ屋」</p> <p>(1) 開催日時 8月21日 13:30～16:30</p> <p>(2) 参加人数 21人</p> <p>(3) 会場 太田文化プラザ</p> <p>(4) 内容 太田球場で合宿をする東京学芸大学附属高等学校野球部の部員及びOBの大学生を講師として、太田地域の小中学生を対象に学習の基本となるアドバイスを「寺子屋」スタイルで開催</p>						
<b>事業効果・成果</b>						
<p>財政面では、講師の方のボランティアによって行われており、経費はかからない。事業効果として、地域が連携して子どもを守り育てる意識が助長され、学力向上とボランティア意識の向上が図られた。また、太田のてらこ屋をとおして東京の高校生と地元の児童・生徒の交流が図られた。</p>						
今後に向けての課題・改善点		夏季・冬季休業中の事業のため、開催日が限定されることもあり、ボランティアの確保が難しい。今後は新たにボランティアして下さる方の募集に力を入れ、事業の充実を図る。		27年度区分	継続	

No.	22	事業名	学校図書館支援事業	提案部署	生涯学習部 総合図書館	生涯学習課
<b>事業内容</b>						
<p>子どもの読書推進のため、公立図書館が学校図書館と連携を図り、子どもが生涯にわたって読書に親しめる環境づくりをおこなった。</p> <p>○新一年生への図書館利用案内 4月上旬に管内の小学校新一年生586人へ図書利用カードの申請を呼びかけ、併せて学校側に団体貸出の利用や読書推進事業のPRを行った。</p> <p>○学校向け新刊案内の発行 小中学校の長期休業前に「図書だより」を発行し、配布した図書館はあったが、新刊案内「図書館へ行こう」の発行についてはできなかった。</p> <p>○「親子で読みたいブックリスト」の作成 読書週間(10/26～11/8)の「大仙っ子、読書の日」と11月6日の「だいせん読書の日」に合わせて市内8図書館の担当者が「親子で読みたいブックリスト」を作成し、期間中に482冊が貸出された。</p> <p>○職員による講師派遣 児童や保護者、学校ボランティアの方々に本の修理、ブックコートの掛け方、図書室の展示方法などについて、助言を行った。また、小中学校のフィールドワークに対応し、読み聞かせボランティアの紹介も行った。</p>						
<b>事業効果・成果</b>						
<p>学校の授業に必要な図書の団体貸出をはじめ、学校図書館の整理や図書の補修、展示方法の改善について可能な限り対応したところ、学校図書館関係者には喜ばれており要望も年々向上するなど、子どもの読書環境の整備には成果があった。</p> <p>一方、公共図書館が学校図書館と係わることで、学校行事への支援ができるとともに、公共図書館にとっても様々な事業の案内や協力の依頼が行いやすくなり、相互の信頼関係を深めていくことに効果的である。</p>						
今後に向けての課題・改善点		学校図書館からの具体的なニーズを把握することで、よりきめ細やかなサービスを提供できるよう、学校図書館担当者と公立図書館の担当者が意見交換を深め、連携していくことを重視していく。 今後、学校の授業に必要な図書資料や指導内容に沿った資料を提供できるよう、利用度の高い図書資料の充実にも努めていく。		27年度区分	継続	

平成27年度ゼロ予算事業実績

No.	23	事業名	大仙市文化財めぐり	提案部署	生涯学習部 文化財保護課
<b>事業内容</b> 実施日 平成27年10月14日（水） 午前9時～午後4時 参加人数 27人 行程 仙北支所集合 ↓ 市指定文化財 木造善女竜王立像（西仙北地域 北野目神明社） ↓ 市指定文化財 愛染明王坐像（協和地域 高善寺） ↓ 市指定文化財 阿弥陀如来像（西仙北地域 円満寺） ↓ 小沼神社（中仙地域） 県指定文化財 十一面観世音菩薩像 "                  聖観世音菩薩像 "                  木造僧形頭部 市指定文化財 獅子頭 "                  小沼観音堂厨子 ↓ 仙北支所解散					
<b>事業効果・成果</b> 継続して参加される方もおり、大変好評を得ている。来年度の参加を今から希望している方もおり、文化財への興味度は確実に上がってきている。それに伴い文化財への関心・知識も深まってきていると思われる。また、公開活用により文化財の所有者・管理者側の活用と保存意識の醸成を図ることができた。					
今後に向けての課題・改善点	毎年好評を得ており、継続して参加される方もいるので、飽きのこない魅力あるコースを設定することと、文化財について説明していただける方の確保が課題である。			27年度区分	継続
No.	24	事業名	旧池田氏庭園 結婚記念・金婚式記念写真撮影応援事業	提案部署	生涯学習部 文化財保護課
<b>事業内容</b> ・金婚式記念写真撮影 10月27日 23組 金婚式終了後、ご持参のカメラにて撮影。（雪見灯籠、洋館前他） ・ご結婚記念撮影はなし					
<b>事業効果・成果</b> 今年度はご結婚記念撮影の前撮りはなかったが、金婚式記念撮影は23組だった。記念撮影は申し込み制であったが、好天により当日希望される方もおり、撮影者にとっては旧池田氏庭園が人生の佳き節目の思い出になり、大変好評であった。また、市民の方々の話題にもなり、旧池田氏庭園が周知され身近になったと思われる。今後も継続していく必要がある。					
今後に向けての課題・改善点	特になし。			27年度区分	継続



平成27年度ゼロ予算事業実績

No.	25	事業名	真山公園クリーンアップ事業	提案部署	仙北支所 農林建設課
事業内容					
<p>実施人数：①平成27年4月17日（金） ②平成27年8月6日（木） いずれも午前9時～正午まで                  参加人数：①28人 ②30人</p> <p>観光客や参拝客が多い春と夏の年2回実施。職員とシルバー人材派遣労働者によって、仙北地域の観光スポットの1つである真山公園の草刈りとゴミ拾いや、高梨神社の参道清掃を行い、景観整備と、観光客や地域住民が安全に歩行できるように努めている。</p>					
事業効果・成果					
<p>普段、公園やその周辺の維持管理に努めているシルバー人材の派遣労働者と協働で清掃活動を行うことで、集中的に作業が必要な箇所や、危険箇所の情報を得ることができ、より効率的な清掃作業と公園の維持管理の精度向上につながる契機となった。</p>					
今後に向けての課題・改善点	<p>今後も清掃活動を継続し、良好な景観維持に努めることで、地域住民との協働によるイベントを開催したり、生活環境としての魅力を発信し、公園広場の活用促進や地域のイメージ、知名度の向上に寄与するよう取り組んでいく。</p>			27年度区分	継続

平成27年度実績 部署別一覧表

担当部署	新規	継続	期中
<b>総務部</b>			
総合防災課		1	
<b>企画部</b>			
総合政策課		1	
まちづくり課		1	
男女共同参画・交流推進課		1	
<b>市民部</b>			
環境交通安全課		1	
国保年金課		1	
<b>農林商工部</b>			
農林振興課		3	
企業対策課		5	
<b>生涯学習部</b>			
生涯学習課		2	
花館公民館		1	
西仙北中央公民館		1	
南外公民館		1	
太田公民館		2	
総合図書館		1	
文化財保護課		2	
<b>仙北支所</b>			
農林建設課		1	
小計	0	25	0
合計	25		